

2013年4月23日
イオン株式会社

SGS、ULの2機関のバイオマス検証マーク取得第一号！ 全国の「イオン」「マックスバリュ」など約850店舗に バイオマス検証有料レジ袋を導入します

イオンは、国際的な認証機関SGS SA（以下、SGS）とUL Inc.（以下、UL）より、レジ袋とお持ち帰り専用のかご「マイバスケット」についてバイオマス検証マークを取得しました。SGS、UL 2機関からのバイオマス検証マーク取得は、このたびの取得が世界初となります。

4月25日（木）よりバイオマス検証マーク付レジ袋をレジ袋無料配布を中止している全国のGMS「イオン」、SM「マックスバリュ」をはじめとする約850店舗に順次導入します。あわせてバイオマス検証マーク付「マイバスケット」をグループ約1,400店舗で展開します。

イオンは、地球温暖化防止のため買物袋持参運動を推進するとともに、2007年より全国チェーンの小売業として国内初となる「レジ袋無料配布中止」に取り組み、現在グループ約850店舗で実施しています。また、2011年には有料レジ袋の素材をバイオマスプラスチックに替え、環境負荷のさらなる軽減に努めています。

このたびのバイオマス検証マークは、SGS、UL、豊田通商株式会社が共同で製品のバイオマス素材含有量のグローバルスタンダード化に取り組む「『SGS・UL』の植物由来素材認証プログラム」（以下、当プログラム）の一環として取得したものです。当プログラムは、世界最大級の認証機関SGSと北米最大級の認証機関ULがバイオマス素材の認証基準・規格化の統一に共同で取り組むことにより、グローバルスタンダードとなる認証の成立を目指すものです。

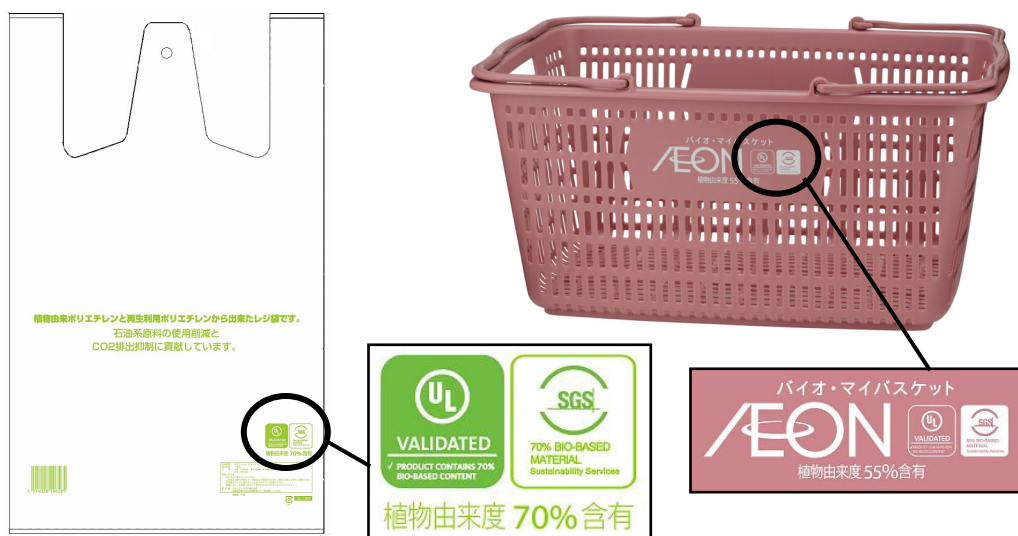
現在、バイオマス素材の市場が拡大する一方で、その認証については、国や地域、自治体、認証機関ごとに異なる基準が存在し、バイオマス素材の認知度向上や市場拡大を進めるうえで課題となっています。当プログラムは、SGS、ULによるバイオマス認証を国際的な共通規格にすることにより、バイオマス素材への信頼性を高め、認知度向上と市場拡大につなげることを目的としています。

イオンは、より多くのお客さまにバイオマス素材を認知いただくとともに、利用の促進に貢献すべく、このたび当プログラムの趣旨に賛同し、SGS、ULによる検証マークを取得しました。このたびの検証に基づいたバイオマス素材の含有率は、レジ袋については70%、「マイバスケット」については55%となります。

また、レジ袋を無料配布している店舗においても、適量配布を徹底するとともに、「マイバッグ持参運動」「マイバスケット持参運動」を推進し、地域のお客さまとともに、レジ袋の使用削減に取り組んでいます。

これらの取り組みにより、昨年度のレジ袋削減枚数は18億枚となり、167,000トンのCO2排出量削減につながっています。

イオンは、これからも持続可能な社会の実現のため、地域のお客さまとともにさまざまな取り組みを行ってまいります。



<バイオマス検証マークの付いたレジ袋と「マイバスケット」>

【『SGS・UL』の植物由来素材認証プログラムについて】

第三者認証機関として世界最大級のSGSと北米最大級のUL、豊田通商株式会社の3社が共同で取り組むプログラムで、植物由来のプラスチックおよび化学品を使用した製品の植物度を判定・認証するものです。認証、審査、基準作成をSGS、ULが行い、認証マークの管理や認証サービスの提供を3社で設立した委員会で行います。

ヨーロッパを中心としたSGSと北米を代表するULが、共同で規格の統一に取り組むことにより認証制度が進む欧米間でグローバルな共通規格の利用促進を図ります。

【認証機関について】

SGS SA

本 社：スイス連邦

設 立：1878年

主な事業内容：ISOやFSC森林管理認証をはじめとした認証、検証、検査、試験等のサービス事業

UL Inc.

本 部：アメリカ合衆国

設 立：1894年

主な事業内容：ULマークに代表される製品安全試験・認証、検証等のサービス事業

【イオンのレジ袋使用量削減の取り組みについて】

イオンは、レジ袋の原料である石油資源の節約やレジ袋生産時のCO2排出量削減のために、地域のお客さまとともにさまざまな取り組みを行っています。

1991年 「買物袋持参運動」スタート

2000年 「マイバスケット運動」スタート

2007年 全国チェーンストアとして全国初となる「レジ袋無料配布中止」の取り組みをスタート。現在グループ850店舗でレジ袋の無料配布を中止しています。

2009年 有料レジ袋の収益金を地域に寄付する取り組みをスタート。2012年度は、約8,600万円を地域の環境保全活動に役立てていただいています。